

高すぎる保育料！京都市は政令指定都市で一番の高さ

京都市の平均保育料は政令指定都市では1番の高さです（政府2020年小売物価統計調査）。全国的には保育料を国基準の6～7割程度におさえるのが当然であり、京都市の保護者負担軽減策が遅れているためです。「高すぎる保育料」をさらに値上げする「行財政改革計画」は撤回すべきです。

地域	保育料(年)	順位	地域	保育料(年)	順位
京都市	388,800	1	広島市	332,850	11
横浜市	370,800	2	浜松市	331,500	12
川崎市	366,900	3	新潟市	324,300	13
福岡市	360,900	4	堺市	324,000	14
北九州市	357,600	5	神戸市	323,400	15
札幌市	348,150	6	千葉市	322,890	16
さいたま市	342,000	7	熊本市	315,000	17
大阪市	338,700	8	相模原市	310,800	18
仙台市	337,680	9	静岡市	288,600	19
名古屋市	336,600	10	岡山市	288,000	20
			東京都区部	254,903	21

県庁所在市・政令指定都市及び人口15万人以上の市の保育料(2歳児)

【計算方法】保育標準時間11時間の保育料につき、4つの階層の価格を抽出、その平均値を比較
 ※京都市の場合(①+②+③+④)÷4=38万8800円

- ①住民税非課税=0円
- ②所得割課税額4万8599円以下の階層 = 8800円×12カ月=10万5600円
- ③所得割課税額16万8999円以下の階層=44500円×12カ月=53万4000円
- ④所得割課税額39万6999円以下の階層=76300円×12カ月=91万5600円

